

# ロシア語学専攻

Russian Studies



入学者はロシア語学およびロシア文学のいずれかを専門領域とし、その領域の範囲の中で研究テーマを決定します。ロシア語を使った議論の進め方に親しんでおくとともに、ロシア語の学術論文の文体に習熟しておく必要があります。

Students will choose either the Russian language or Russian literature as their specific area of expertise and decide their research topic within that area. Students also need to become familiar with the processes of research development, using Russian to acquire proficiency in the writing of academic papers.

## 授業担当専任 スタッフ Academic Staff Profiles

金子 百合子 (かねこ ゆりこ) Yuriko KANEKO

●教授/Professor

主に現代ロシア語のアスペクトを研究対象とし、以下の課題に取り組んでいる。(1) 文法アスペクトと動詞語彙意味や接辞派生による語形成意味との関係性、アスペクトと隣接する諸分野(テンス・モダリティ他)との相関性、テクスト構成上の役割といった側面から、アスペクトの機能意味分野を体系化すること。(2) 対照言語学的視点から、ロシア語と日本語のアスペクト表現における多様な個別言語的特徴を関連づけて体系化すること。

Modern Russian grammar, Aspectology, Word-formation, Contrastive linguistics

Elena BAIBIKOVA (エレナ・バイビコフ)

●准教授/Associate Professor

主な研究分野は翻訳研究である。ロシア社会・文化・文学を論題とし、翻訳の社会的文化的な諸相を見つめ、研究を進める。文化的な活動としての翻訳、翻訳者のアイデンティティ、翻訳と異文化コミュニケーションなどのテーマを対象にリサーチする。

Translation studies, Translator studies, social and cultural aspects of translation, Russian literature in translation



北見 諭 (きたみ さとし) Satoshi KITAMI  
●教授/Professor

ロシア文化史、ロシア思想史専攻  
とりわけ、19世紀末から20世紀初頭にかけて哲学、文学、芸術、社会思想など、幅広い分野で生じた「ロシア文化ルネサンス」、「ロシア宗教ルネサンス」と呼ばれるロシア精神史上の重大な転換点を対象に研究を行っている。その目的は、この時代のロシアの知識人に特有の思考様式を明らかにすること、そうした思考様式が成立するうえで、何がその背後にあったのかを明らかにすることである。

Russian Culture, Russian Philosophy

藤原 潤子 (ふじわら じゅんこ) Junko FUJIWARA  
●准教授/Associate Professor

文化人類学的手法でロシア文化研究を行っている。主なフィールドは、ヨーロッパ・ロシア北部と東シベリア。現代ロシアの宗教状況、シベリアのロシア人社会、気候変動の地域社会への影響などについて調査を行っている。

Cultural anthropology, Russian culture



清水 俊行 (しみず としゆき) Toshiyuki SHIMIZU  
●教授/Professor

ロシア正教思想史および精神史の文脈から、ロシアにおける聖師父文献の翻訳出版活動や修道院と世俗文学との交流を跡づけ、ロシア文化の霊性の発展を探ろうとする。

Eastern Christianity and Russian Literature

高橋 一彦 (たかはし かずひこ) Kazuhiko TAKAHASHI  
●准教授/Associate Professor

近代法史。  
20世紀初頭に編纂されたロシア民法典草案の性格を共時性の相の下に、すなわち同時期に成立したドイツ民法典や世紀末フランスにおけるコード・ヴィルの展開を眺みながら、検討する。

Legal history, Russian civil law

## 最近の修士論文等のテーマ Recent Master's Thesis Subjects

- ・ Проблемы перевода эссеистики Комментированный русский перевод отрывков из сборника эссе Мари Ёнэхары «Если верны, то некрасивы, если красивы - неверны»
- ・ 喜劇『コリオーン』についての一考察
- ・ 『査察官』研究—僭称の歴史とそのアイロニー—
- ・ Опыт реинтерпретации глаголов перемещения в современном русском языке.
- ・ Строительство литературы на белорусском языке - проблемы и факторы развития.
- ・ 雪解け期における社会現象としてのプラート・オクジャワ
- ・ Нижинский и его роль в русском балете

## 院生紹介 Message from a Student

—神戸市外国語大学の修士課程を選んだ理由を教えてください。

ロシアの大学で日本文化を勉強したことがきっかけで、翻訳に興味を持つようになりました。翻訳の専門知識を身につけるために留学の必要性を感じ、研究生として学んだ後、修士課程へと進みました。本大学には言語学・通訳・翻訳を専門とするレベルが高く、経験豊富な研究者が多くいらっしゃるのので、研究に必要なサポートを受けることができます。私はこの大学を大変気に入っております。

—入学する前と後で大学院に対するイメージはどのように変わりましたか？

私は当初ロシアの大学を卒業して留学する際に不安だったことがありました。それは日本の教育システムに慣れることができるかということです。ロシアでは学生自身で時間割が選択できないので、単位を取るシステムがありません。そのため、日本の大学院をイメージすることが難しかったです。しかし、先生方が熱心に指導してくださったこと、同じ学部の学生からのサポートによって充実した学生生活を

送ることができています。現在は、本学の教育システムに慣れ、大学院で学ぶべき重要なことは、研究活動であると理解できるようになりました。

—修士課程進学を考えている方にメッセージをお願いします。

ロシア語に関する研究がしたいなら神戸外国語大学に進学することはとてもいい選択だと思います。研究に必要なサポートを受けることができます。大学の特徴である国際的な雰囲気は外国語を学ぶ私達にとって整った環境です。

—どのような学生生活を送っていますか？

自分が興味のある科目選び、一週間に4日ほど大学に通っています。授業以外では文献を読むことが多いので、よく図書館で研究をしています。その他の時間は他の学生と交流したりします。暇な時間があればロシアクラブでロシア語を学びたい学生と一緒に様々なテーマで会話を楽しんでいます。学内の研究発表会では他の院生や先生方に見ていただくこともあります。定期的なイベントに興味があれば、参加したりします。とても楽しいイベントがあるのでおすすめです。



シュモワ アナスタシア(1年)  
Shumova ANASTASIIA